

問

代表・一般質問を平成22年12月2日、3日、6日に開会した第4回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する10名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党

一人一人が幸福を

実感できる足立区へ！



自由民主党

しのはら 守宏 議員

学力定着にどのような観点で取り組んできたか

【問】区長の教育関連公約は順調に達成されたものと考えているが、学力については、主にどのような観点から取り組んできたか。
また、その目標と成果はどうであったか。

【区長】自己肯定観獲得のための第一歩として、足立区の子どもすべてに基礎基本の学力の定着を図ることは当然と考える。

しかし、勉強の他にも、何か得意とするもの、熱中できるものに出会うことも重要であり、そのような出会いの機会を幅広く設定することで、「たくましく生き抜く力を育んでいきたい」と考え、具体的な取り組みを進めてきた。

学校によっては一定の成果等が確認されているが、足立の子どもも全体とすると、基礎学力の定着等にまだまだ課題があると考える。これらの取り組みを継続することで、さらなる効果があがるものと期待している。

子育て支援の基本的な考え方とその成果は何か

【問】子育て支援については、

基本的な観点で取り組んできたのか。

また、その成果はどうであったか。

【区長】「各家庭が、それぞれの価値観に沿った生き方を選択できるよう、子育て支援サービスの充実が必要」との考え方で取り組んできた。

その成果として、子育て応援隊事業や一時保育実施園の拡大によって、誰でも利用できる一時保育の充実が図られた。

しかし、保育園の定員数を11月末現在で652人増員したが、課題の解決には至っていない道半ばの現状である。

旧第十六中学校跡地はどのように利用するのか

【問】東京電機大学に旧第十六中学校跡地を使用してもらう方向で検討中とのことだが、どの



ような使い方がされるのか。

【政策経営】区との連携により起業家を育成する創業支援施設や産学公連携事業、大学の研究ゼミ室、グラウンドとしての利用等を予定している。

また、既存の4階建て校舎を現状の形のままで、東京電機大学が内外装工事を施して利用する予定である。

行政財産貸付の検討状況を問う

【問】行政財産の貸付の活用、検討状況、貸付実績は、どうなっているのか。

【資産管理】本庁舎等、現に行財政産として活用し、使用許可をしている財産を対象に、貸付可能が見直し作業を進めている。本年度は一部試行として、入札を行い、本庁舎北館屋上のエレベーターホールに、貸付により自動販売機を設置した。

また、行政財産の本利用が進まない用地も、六町複合商業施設予定地における自動二輪駐車場等、暫定利用として、行政財産の貸付により整備することとし、民間のノウハウを活用した簡易公募型プロポーザルの準備を進めている。

アレフ進出阻止のために残された課題は何か

【問】アレフ包囲網は確実に狭められてきたが、施設の改修工事は着々と進んでいる。区として、アレフ進出阻止のためにやらなくてはならないことで、残されたことがあれば何か。

【総務】全国に先駆けた規制条例の制定等、自治体としてやるべき方策を尽くしてきたが、アレフが進出を断念するに至っていないこともあり、法的な限界

を感じている。区として、引き続き、住民と一丸になって戦う力になると考えている。

【問】安心して子育てできる環境を整えるためにも、土曜日夜間の小児を含めた救急診療体制を確立すべきと思うが、取り組み状況と合わせて伺う。

【衛生】足立区医師会と医師の確保等、診療体制づくりについて検討を行っている。今後も救急診療体制の実現に向け、積極的に取り組んでいく。

桜を育てる協働の仕組みを

【問】「ふるさと桜オーナー制度」で植樹できた方に桜を定期的に見守っていただくことが重要と考える。植樹した桜を皆で育てていく協働の仕組みを作るべきと思うが、見解を伺う。

【みどり】(仮称)ふるさと桜オーナーズ会等を結成し、例えば、桜に関する情報誌の発行や桜を観賞する会の開催等、将来にわたり桜の成長を見守っていただく仕組みを作り上げていく。老朽化した危険建物の実態を調査せよ

【問】適切な管理が行われず、放置され危険な状態の建物が目立つようになってきた。このような老朽危険建物の実態を把握しているのか。していないならば、調査すべきと考えるが、見解を伺う。

【建築】区民から危険な建物に関する通報を受けた場合、その都度、現地調査等を行い、安全対策を指導しているが、区全体の現況は把握していない。

【産業経済】対象とする事業内容や助成金額等を様々な角度から検討し、しっかりとサポートできる仕組みを考えている。また、仕事の機会創出に結び



そのため、平成23年度に企業提案型緊急雇用創出委託事業を活用し、区内全域を対象とした実態調査を実施する予定である。

区長は引き続き政策の舵取りを行うべきだ

【問】これまで区長は、自らのアイデアとリーダーシップを発揮して様々な改革を進めてきた。今後その検証を行い、区政に反映し、結果に結び付けていくことが、区長に課せられた使命であり、引き続き区政の舵取りを

行うべきと考える。そこで、区長は、平成23年の区長選挙に当然、立候補すべきと考えるが、区長の決断を伺う。

【区長】区が新たな発展への好機を迎えている中、「子ども」くらし「まちづくり」「経営改革」に関する様々な施策を充実・発展させ、区民が住んで良かったと思える足立区を実現することを目標に、来期も引き続き、区政の舵取りを担当させていただきますと考える。

現在、区が都市の機能面で非常に高い評価を得ている状況があるのも、先達・先人の皆様の努力の成果が実っているものと考えている。次世代にさらにパワーアップした形で、バトンタッチするためにも、全力で頑張っていく。

中小零細企業の育成と学校教育の正常化を



自由民主党

鹿浜 清 議員

中小企業に新たな助成制度を

【問】区内製造業を対象に、新たな少額助成制度を検討しているが、検討状況はどうか。

また、他の業種に対しても仕事の機会を増やすための助成金が必要と思うがどうか。

つく支援として、既存の助成金の拡充や新たな助成を検討している。これらの助成制度設計では、区内で経済効果が発生するよう、区内企業活用にインセンティブが働く仕組みも検討する。

【問】「足立区地域経済活性化基本計画」には、販路拡大等、区内製造業者が苦手とする課題を支援し、区内産業の活性化を図るとある。その実現のため、